

駒澤大学 2-3 筑波大学

49% <ボール支配率> 51%

SOUL OF KOMAZAWA
FORZA 駒澤 Vol. 27
 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com
 TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之
W杯まであと7日!

↓28分、深井と千代反田が接触。
このプレーで千代反田は負傷退場

<第6節終了時点順位表>

チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1 筑波大学	4	1	1	15	9	+6	13
2 駒澤大学	4	2	0	23	10	+13	12
3 国士館大学	3	1	2	16	9	+7	11
4 東京学芸大学	3	2	1	13	12	+1	10
5 慶応義塾大学	2	3	1	6	11	-5	7
6 亜細亜大学	1	2	3	10	17	-7	6
7 順天堂大学	1	3	2	6	12	-6	5
8 青山学院大学	0	4	2	3	12	-9	2

★得点ランキング★		★アシストランキング★	
1位…巻誠一郎(駒大4年)7	1位…深井正樹(駒大4年)4		
2位…中田洋介(駒大3年)5	2位…中田洋介(駒大3年)3		
鈴木孝明(筑波3年)	渡辺誠(国士大4年)		
3位…深井正樹(駒大4年)4	榎本周平(東学大3年)		
榎本清道(慶大4年)	3位…巻誠一郎(駒大4年)2		
高林佑樹(筑波大4年)	橋本早十(駒大3年)		



得点王レースのトップを走る巻。肋骨の骨折が完治していない状態で足がつるまで走り続けたが、その努力も勝利には結びつかなかった(岩田陽一撮影)

連勝ストッパー、2位後退

5月18日 14:30 西が丘サッカー場

駒大 2(0-2) 3 筑波大

(2位, 12, +13) (1位, 13, +6)

【筑】 2分: 兵働昭弘 1 (アシスト=鷲巣延圭 1)
 【駒】 12分: 鈴木孝明 5
 【駒】 65分: 深井正樹 4 (中田洋介 3)
 【筑】 71分: 秋田政輝 1

KOMAZAWA	TUKUBA
GK◎牧野利昭(1)	GK◎阿部謙作(4)
DF◎桑原靖(1)	DF◎鷲巣延圭(4)
DF◎松田大輔(4)	DF◎千代反田充(4)
DF◎鈴木祐輔(2)	(28分)◎神田康(4)
DF◎小林亮(2)	DF◎小林宏之(4)
MF◎中後雅喜(3)	DF◎植松弘樹(2)
MF◎橋本早十(3)	MF◎高林佑樹(4)
(69分)◎角屋博文(4)	MF◎鎌田祥平(3)
MF◎中田洋介(3)	MF◎今泉和己(3)
MF◎増富真也(4)	(81分)◎佐野裕也(2)
(45分)◎赤嶺真吾(1)	MF◎藤本淳吾(1)
FW◎深井正樹(4)	(71分)◎秋田政輝(2)
FW◎巻誠一郎(4)	FW◎兵働昭弘(2)
(81分)◎松村竜祐(1)	FW◎鈴木孝明(3)
S U B	S U B
GK◎太洋一(2)	GK◎藤本豪(4)
DF◎山本陽慈(4)	DF◎川端佑介(1)
MF◎田中成信(3)	MF◎鈴木達也(2)
FW◎関光博(2)	FW◎町田多聞(3)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 山中邦雄

警告(C)/退場(S)
 【駒】13分: 中後雅喜 1 (C)、89分: 鈴木祐輔 1 (C)
 【筑】70分: 藤本淳吾 (C)、76分: 植松弘樹 (C)

<シュート>11:12<枠内シュート>3:7
 <決定機>2:6<CG>9:15<CK>6:5
 <PK>0:0<直接FK>10:24<間接FK>1:1
 <OS>1:1<主審>五十川和也<観衆>約500人

※上記データは全て左側の数字が駒澤、枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です



ボールへの執念を見せる増富。効果的に攻撃に絡むことが出来ず、駒大では珍しく前半で交代となった

★基本フォーメーション★



前期天王山！健闘および惜敗

不安は的中した。ディフェンスラインの要である主将の松田が出場停止のこの試合、駒大は前半の12分までに2失点を喫してしまふ。前期最大の山場である大事な試合で、早くも2点を追う苦しい展開になった駒大だったが、試合は筑波大ペースで進む。

駒大自慢の強力はトップ・深井、巻を迎え撃つのは、大学選抜で互いに手の内を知り尽くした小林、千代反田のセンターバックコンビ。この2人を中心とした筑波大のディフェンスの前に、自分たちの攻撃の形を作れずいたが、あるひとつのプレーで駒大に一筋の光が射しこむ。28分、深井と千代反田が接触し、千代反田が負傷退場。「あれで巻が競り勝てる場面が出てきてリズムが出てきた」というように、こ

そして後半に入って59分。「自信があった」というゴール正面のフリーキックを中後が右足でポストギリギリの際どいコースに決め1点差。さらに65分には後半から出場の赤嶺がヘッドで中田へつなぎ、そこから折り返しを深井が決めゲームを振り出しに戻した。

勢いは駒大。しかし「あのリズムでもう1点取れなかったことが敗因(深井)というように、逆に交代で入ったばかりの筑波大・秋田に勝ち越しゴールを許した。試合そのままタイムアップ。健闘および今季2敗目を喫した。リーグ戦2試合目の出場となった河合は「こういうレベルでは更なる集中が必要」と語り、深井は「2点差を追い付いただけでも次につながる」と前を向いて語った。それぞれが課題と収穫を生じた今回の敗戦。前期最終節となった今回の敗戦。前期最終節となった今回の敗戦。前期最終節となった今回の敗戦。

～新人戦日程決定！～

1、2年生が出場する第23回関東大学サッカー新人大会の日程が発表された。駒大の予選リーグ3試合は全て二子玉川の駒大グラウンドで行われる。

<予選リーグ>

- 6月1日(土)…東海大学(13:00、駒大G)
- 6月2日(日)…中央大学(13:00、駒大G)
- 6月8日(土)…慶応大学(14:00、駒大G)

<決勝トーナメント>

- 6月15日(土)…準決勝(国士大G)
- 6月16日(日)…決勝、3位決定戦(国士大G)

中後、大学選抜

MF中後雅喜(2年)が5月8、9日にスイスのチューリッヒで行われた「Blue Stars FIFA YOUTH CUP」に参加していた全日本大学選抜の選征から帰国。中後は5～6位決定戦でPKを決めるなどしてチームの6位に貢献した。コメントは以下の通り。

「印象に残ったのは優勝したポカジュニアーズ。フィジカル、技術など全ての面で差を感じた。自分はまだまだミスが多い。こういう経験を生かしてレベルアップしていきたい」